

「ぬくもりを届けたい、手から心へ」 .....

# たまちゃん通信

令和元年 10 月発行 116-2

発行：日本のお手玉の会本部 〒792-0013 愛媛県新居浜市泉池町 10 番 1 号

TEL：0897-32-0302 / FAX：0897-32-0311

e-mail:honbu@otedama.jp URL：http://www.otedama.jp

## 「童謡 101 年 未来に向けて」

### 東京・おてだまがお手玉を披露

『童謡 101 年 未来に向けて 踊ろう！唄おう！』というコンサートが、令和元年 8 月 17 日(土)、東京都世田谷区の成城ホールで行われました。日本のお手玉の会の東京・おてだま(尾崎杏子理事長)が参加し、童謡を歌いながらのお手玉パフォーマンスを披露しました。

コンサートのトップを切って、「アンパンマン」を歌いながらのお手玉演舞で幕を開けました。会場には、あらかじめお手玉が配られていて、舞台と客席が一緒になって、お手玉を上を上げたり、体をゆらしながら楽しみました。

次は、「うさぎとかめ」を歌いながらのヨーヨーお手玉ダンス。お手玉を下に上に、斜め上、斜め下へと投げながら、ダンスをしました。会場のみなさんは、初めてのヨーヨーお手玉に興味深々、手拍子をしながらか見入っていました。これらは、小泉珠子理事のリードですすめられました。

次に、日本のお手玉の会の小田原充宏師範代が、3 個、4 個のお手玉を自由自在



に操ったり、お手玉を 5 個、6 個のボールに持ち替えて、ボールを背中に回したり、体を一回転させながらのパフォーマンスに、会場から大きな歓声と拍手が贈られました。



ここで、舞台と会場の照明が落とされ、「ほたるこい」を歌いながら、東京・おてだまのみなさんが蛍光塗料を塗ったお手玉をゆりながら登場しました。ほんのりと光るお手玉がゆれる幻想的な動きに、会場からは大きなため息が漏れていました。(写真右：上から「アンパンマン」、「うさぎとかめ」、「サザエさん」、小笠原師範代のパフォーマンス)

場面ががらりと変わり、色とりどりの衣装をまとった会員が、「森の小人」を歌い、元気よくお手玉をゆりながら登場しました。会場のみなさんも明るい表情で元気よく歌い、お手玉をあやつっていました。

最後は、「サザエさん」で、曲に合わせて会場と舞台がリズムに乗ってひとつになり、お手玉をゆりながら笑顔いっぱいのフィナーレとなりました。(写真左上：東京・お手玉のみなさん)